

CV22オスプレイの横田基地配備に抗議する決議

平成30年8月22日午後2時、国（防衛省及び外務省）において、今般、在日米軍から5機のCV22オスプレイを本年10月1日に横田飛行場に配備する旨の連絡があったとの内容が公表された。

横田基地周辺の自治体の議会では、7月19日を含めこれまでも防衛省本省及び北関東防衛局へ要請行動を行い、CV22オスプレイ配備計画や安全に関する迅速で正確な情報提供を行うとともに、米国政府に対し、十分な情報提供を行うよう働きかけることを強く求めてきたところである。

しかしながら、現在も十分な情報提供がないまま連日飛行している状況に加え、今回CV22オスプレイの横田飛行場への正式配備日程の公表は、市民の騒音被害や事故等に対する不安をさらに増大させるものであり、横田基地周辺の自治体の議会においては、再度8月24日にもたび重なる要請に対し、真摯に対応することを強く求めている。

既に本市においても本市の上空をオスプレイが飛行したことが目撃されている。CV22オスプレイは、夜間に超低空飛行で敵地に潜入し、奇襲や拉致、暗殺などの無法な「特殊作戦」を行う機体である。高度30から60メートルの超低空飛行する苛酷な訓練により、事故を多発させている。そのオスプレイが住宅密集地である首都東京横田に配備されることは認められない。

よって、本市議会は、政府及び米国政府に対し、市民の命を守り、平和を希求する立場から、横田基地へのCV22オスプレイの正式配備の撤回を求めるとともに、情報提供や説明すら行わないことに対し、強く抗議する。

上記、決議する。

平成30年9月27日

三 鷹 市 議 会